

支払不能ノ状態ニテ罷業職工五名ハ漸然解雇セシトスル方針  
ナルカ何レモ昨年十一月以後雇ハシタルモノニテ自然退職  
トシテ解雇手当又支給セサル意向ヲ有シ居レリ

### 二 争議団側

争議団側ハ其後各工場有志ヨリ五十六日七十銭ノ寄附ヲ受ケ  
テ炊出しヲ爲シ昼間ハ争議団ニ集会ニ夜間ハ友類団体ヨリ十  
名内外ノ加援アルニ目下ノ急不穩ノ行動ナレ

### 三 交渉状況

其後寄附ノ会见交渉ナク相對峙シ居タルカ毎月七日所轄署  
警察ノ斡旋ニヨリ今署ニ於テ争議団代表小林秀雄外三名ハ事  
業主ト会见シ事業主側ヨリ争議団側ハ各工場ノ財政窮迫セル  
状態ヲ知悉シ乍ラ争議ニ入りタルハ不都合ニシテ此際漸然解  
雇スベク後ヲ解雇手当又支給スルト能ハヤクニ此際五日宛  
ク支給スルヲ以テ円満解決ニ同意スレタレト云ハタルニ等

議団側ハ解雇ハ意外ナリト前提シ先般解決シタル賃金(一張  
送皆金三円)ヲ三円半減トシ休業手当(前解決条件三十五銭)  
五十銭宛ヲ要ホシタルニ事業主ハ前解決条件サヘ実行不能ナ  
ルニ本要ホシ容ル、場合ハ工場ノ至望モ不可能ナリト拒絶セ  
ル為後業員側ハ何等カノ方法ヲ以テ一ヶ月四五十円浪度ノ収  
入ヲ得ル様努力スル意志ナキヤト質問シ工場主ハ即答スルコ  
ト能ハス一兩日中間屋其他ニツキ調査ノ上回答スヘキ旨ヲ答  
ヘテ一先ツ会见シ了セリ

右及申(通)報候也